

2023年7月

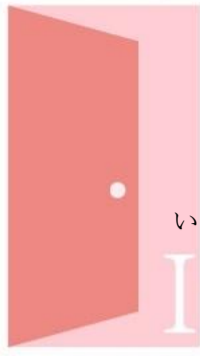


HP



mail

いってらっしゃい



いくじいん

Ikuji in だより

第48号



おかえりなさい

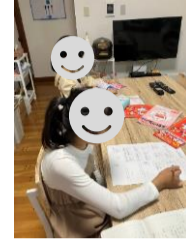


幼児部

幼児部/学童部
スタート!!



学童部



えん

現在幼児部は、元気いっぱいの幼児さん3名で、毎日元気に遊んで仲良く過ごしています。

GWには阿知須のきらら博記念公園で開催されたイベントに参加し、楽しい思い出が作れました。ほたるの時期になると近くの一の坂川へほたるの観賞にも行きました。

これからの季節も子どもたちとどんな楽しい思い出を一緒に作っていかうかと考えることが楽しみです。

4月から学童部・幼児部とに分かれた生活がスタートしました。始めに、したいこと・やってみたいこと・職員にしてほしい事を子ども達にアンケートを取ったところ、「ベランダにハンモック!」「1人に1台テレビ!!」などなど無理難題から「1ヵ月に1回なんかしりたい!」「居室に芳香剤が欲しい!」等日常生活のことなど色々教えてくれました。「まずは、日常生活から」を合言葉に職員一丸で頑張っています。

写真は4月に企画したチョコフォンデュです!

新年度を迎え、グループホーム「えん」では、新たに小学生2人、中学生1名を迎え入れました。今まで小学生はいなかったため、小学生が帰宅後ダイニングテーブルに学習ドリルやノートを広げて宿題をする姿は新鮮な気持ちになると同時に家庭的だなと感じる今日この頃です。さて、先日は中学1年生の児童(以下Aさん)が初めて中間テストに臨みました。テスト週間は普段より遅い時間まで起きてリビングや居室でテスト勉強にはげんでいた姿が印象的です。そんなAさんを見て、中学3年生の児童は、自分自身の勉強をしつつ、Aさんに寄り添って勉強を教えてくれている姿をみてあたたかい気持ちになりました。

また高校3年生の児童は、卒業後の進路選択に向けて積極的にオープンキャンパスに参加し将来を見据えた生活をしています。本人にとって最善の選択ができるように職員一同しっかりサポートしていきたいと考えます。

最後に、新年度の職員の配置換えもあり新体制となった「えん」ですが、これまでと変わらず、子ども達が安心安全な生活が送れるよう、日々子どもたちの声に耳を傾けていきたいと思ひます。

子どもたちが「暇~することない~」と口にするのをよく耳にします。することがないのではなく、することは自分で見つけるものだと思うのです。勉強するもよし、部屋を片付けるもよし、読書やお絵描き、運動するのもいいでしょう。できることはたくさんあるはず。想像を膨らませ、物語を紡ぐのも楽しいかもしれません。何かに熱中する時間を持つことは幸せな時間です。そこから新たな発見があるかもしれません。

私も気になったことはとりあえず挑戦してみます。中でもどハマリしたのが切り絵です。ハサミやカッターを使って紙を切り抜きます。蒼山日菜さんという切り絵作家さんが小さなハサミ1つで仕上げる美しい作品を見て、私もやってみたいと思ったのが始まりです。今では教室に通って認定講師を目指すほどのめり込んでいます。図案に描かれた線を黙々と切るだけですが、自然と集中できます。切った作品はせっかくなので皆さんにも見てもらおうと、玄関や医務室に飾っています。

季節に沿ったものを飾りたいと思っているので、今月は何かと楽しんでもらえたら嬉しいです。私自身何か夢中になる時間は心を豊かにしてくれると感じています。実際順天堂大学医学部教授の小林弘幸氏の研究でも、切り絵をすることで自律神経が整えられることが実証されています。子どもたちが自ら考え、夢中になれることに出会い、心豊かに成長していってくれることを願っています。



五看十護部
こず恵



いくじのまど

学童部所属の頃安滞です。洞春寺とのご縁が契機となり、こちらで勤め始めてはや3年目となります。昨年までは諸先輩方に支えていただき、子どもたちのお世話と業務をこなす日々でした。しかし、今年は学童部に2人の後輩が入り、子どもたちのお世話と日々の業務+後輩のサポートを気にかける立場になりました。最初は不安でしたが、今では後輩たちからいい刺激をもらっています。

今でも子どもに関する心苦しい報道が多々見られます。様々なニーズを持った子どもに合った支援が提供できるように諸先輩方に相談して模索したり、研修等に参加して支援の幅を広げる必要があると考えさせられます。

私は石橋を叩いて叩いて渡るような性格なので、子どもと一緒に失敗や成功など様々な経験を通して成長していきたいと思っています。

学童部
頃安滞



いくじのまど

いくじのまど



施設で働く職員の記事です

笑顔あふれる場所に...



施設
岡崎長
克徳

昨年度より育児院にお世話になり、あっという間に1年が過ぎました。新しいことに色々取り組む中で、子どもたちや職員は戸惑うことも多かったのではないかと思います。しかし、戸惑いながらも職員は子どもたちに一生懸命に向き合ってくれました。子どもたちも色々なことにチャレンジして、失敗しながら少しずつですが成長した姿を見せてくれました。

また分園型グループホームも1カ所、開設することができ、一歩ずつ、より家庭に近い養育環境を整えることができつつあります。しかし、いくら家庭に近い養育環境を整えたとしてもそこで生活する子どもたち、職員が安心安全な場所で生活できなければ意味がありません。

スローガンの「笑・和・輪」のように笑顔で和やかにみんなでひとつになって過ごせるような笑顔あふれる居場所に「育児院」がなればと考えていますので今後とも温かい目で見守っていただけたらと思います。



いくじのまど

小さい頃からアニメ好きで、その想いは今日まで衰えず、気がつけば7年間、オタク保育士として育児院に存在し続けております。最初はアニメ好きを公言しておらず、真面目な保育士を演じておりましたが、今ではきっかけは不明ですが、気がつけばアニメのキャラクターが施されたTシャツが私の制服になっています。アニメと言っても、私の言うアニメはいわゆる美少女、萌え系のアニメなのです。「いい年したおっさんがそんな服を着てふざけるな!」「マジキモい」。上司や児童、外部の方から、そんな苦情が来るかなあと考えていたのですが、意外にも皆さま寛容(諦め?)で、児童からは「それ何のアニメ?」と興味を持ってくれるようになり、今日までオタク道を突き進んでおります。今こそアニメは身近な存在ですが、私の学生時代は腫れ物扱いされる存在であり、公にすればいじめの対象となる時代でしたが、今ではそんなことはなく、一般の娯楽として受け入れられている雰囲気を感じます。好きなモノは好きと言っても良い、誰に何を言われようと自分の好きなモノに自信を持って、それを生きがいにして人生を豊かにしてほしい。そんな想いを子どもたちに伝えられる職員を目指しています。

学
三童
谷部
学



いくじのまど



新人職員紹介

紀村有美 児童サポーター



今年4月に入職しました紀村有美と申します。私が山口育児院で働きたいと思い始めたのは、大学の時の実習がきっかけです。子どもたちと関わる中で皆さんの壁にぶつかりました。どのような声かけが必要なのか毎日必死に子どもと関わりました。その中で、子どもに毎日声をかけることや、子どもが好きなものに目をつけて話すことで関係が少しずつ築かれていきました。このように“あなたのことを見ていきます”ということを伝えてあげることの大切さに気づくと共に、やりがいを感じたのがきっかけです。これから子どもと関わる中で関わり方に戸惑うこともあると思いますが、ダメなことはダメ、褒めるときにはしっかりと褒め、子どもとの信頼関係を築いていけることが目標です。まだまだ未熟で迷惑をおかけすることもありますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

内木場天華 児童サポーター



今年の4月より入職しました内木場天華と申します。鹿児島県出身で山口県立大学への進学を機に山口県で暮らし始め、この度、山口育児院で児童サポーターとして働かせていただくことになりました。県立大学進学後、社会福祉について学ぶ中で児童分野に興味を持ち、そこから児童養護施設で働きたいと思うようになりました。まだまだ分からないことも多く、何をすればいいのか、何を目標にすればいいのか考えている最中ではありますが、精一杯頑張っていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

笹川将大 児童サポーター



今年の4月から、児童サポーターとして働かせて頂くことになりました。笹川将大と申します。大学では、ロードバイク、モーターバイク、スキー、ヨット、社交ダンスなど勉強以上にアクティブに活動しました。自身のアクティブさとどんなフィールドでも飛び込む好奇心と行動力を発揮して、子どもたちの興味関心に寄り添い、日常の中に楽しさを織り込んでいきたいです。

私は、生まれも育ちも山口で、生粋の山口っ子です。私にとって山口は、心落ち着く場所、思い出のつまった場所です。それと同時に、子どもが安全、安心に育つとともに、たくさんのお出を出を作りたいと思ひます。ここでも「ここでも育つてよかった」と思えるように、日々子どもたちと関わっていき

寄付・寄贈

令和4年10月～令和5年3月分

関様、富田明子様、松村健様、NPO法人ふるさと山口経営者フォーラム様、明星幼稚園様、瑠璃光寺晋山委員会様、建仁寺派宗務本院財務部様、一般財団法人日本児童養護施設財団様、秋貞勇様

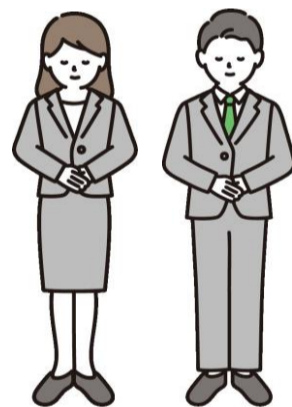
フレール館様、深野宗泉様、伊藤ホールディングス 伊藤様、山縣恒様、おてらおやつクラブ様、ギャラリー創 山本順子様、服部様、更生保護女性会大支店 津高喜子様、山口ロータリークラブ様、久本様、田村様、全国シヤンメリー協同組合様、平尾要様、武重様、こうのり様、あさひ製菓様、仕出しかつう様、高本秀樹様、Hotto Motto 沢畑様、服部恵子様、愛林館 中谷拓嗣様、N.T.T.西日本山口支社様、倉重農園様、光孝寺様、山口遊技業共同組合様、連合山口 山根様、後藤様、国宗様、明治安田生命様、清水伸一様、山口県こどもを育てる会 梅本玲子様、関和貴様、中村様、セブンイレブン白石店様、万徳寺様、久野朋美様、鈴木慧子様、妙勝寺 藤田玄祐様、思いやり活動まるごみ薩摩本部実行委員会 富岡真田美様、南禅寺順正様、株式会社くれん様、橋本食糧工業株式会社様、廣島家様、日本缶詰びん詰レトルト食品協会様、三島食品株式会社様、はごろもフーズ株式会社様、オタフクソース株式会社様、株式会社サンヨウ堂信託部様、ウーケ様、株式会社マルハニチロ九州様、丸美屋食品工業株式会社様、内藤彰信様、三育フーズ株式会社様、はるぼん様、株式会社カーブスジャパン フードドライブ様、吉田尚子様、準組 河本準一様、株式会社ふみおか様、岡本様、ウィード様、株式会社フジリテイリング株式会社、Daska Desire 社員一同様

ほか、匿名の方より寄付・寄贈をいただいております。皆様、ありがとうございます。

※順不同

令和4年度決算報告

令和4年度の決算報告は次の通りです。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



		本部	施設	
事業活動による収支	収入	措置費収入	0	173,575,879
		その他の事業収入	0	5,912,308
		経常経費寄附金収入	0	1,085,642
		受取利息配当金収入	120	5,482
		その他の収入	0	1,528,779
	支出	経常収入 計	120	182,108,090
		人件費支出	141,435	127,453,539
		事務費支出	37,566	43,929,506
		事業費支出	0	27,813,373
		その他の支出	0	692,891
経常活動資金収支差額		-178,881	-17,781,219	
施設整備による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	19,330,000
		固定資産売却収入	0	0
		施設整備等収入 計	0	19,330,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	1,320,000
		固定資産取得支出	0	1,639,102
施設整備等資金収支差額		0	16,370,898	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	21,486,975
		サービス区分間繰入金収入	179,000	0
		その他の活動による収入	0	188,076
	財務収入 計		179,000	21,675,051
	支出	積立資産支出	0	19,536,365
		サービス区分間繰入金支出	0	179,000
		その他の活動による支出	0	0
その他の活動支出 計		0	19,715,365	
その他の活動資金収支差額		179,000	1,959,686	
当期資金収支差額 合計		119	549,365	

資産の部		負債の部	
流動資産	55,300,009	流動負債	13,154,119
固定資産	347,506,772	固定負債	15,468,612
基本財産	15,413,239	負債の部合計	28,622,731
その他の固定資産	242,093,533	純資産の部	
		基本金	61,852,105
		国庫補助金等特別積立金	78,709,369
		その他の積立金	216,882,850
		次期繰越活動収支差額	16,739,726
		純資産の部合計	374,184,050
資産の部合計	402,806,781	負債及び純資産の部合計	402,806,781

お知らせ

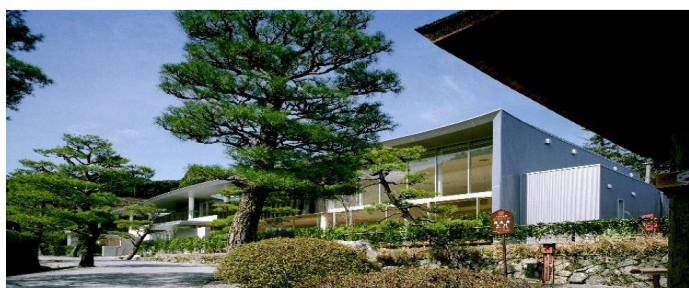
育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。

◎トワイライトサービス
◇仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かりいたします。

◎短期入所サービス
◇病気、事故、出産等で養育が難しくなった時等、短期間お預かりいたします。

※当院をご利用希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。福祉に関心がある方、是非一度ご来院ください。

案内図



194
新緑がまぶしいこの季節、施設の窓から見える景色を眺めながら、ふと思ひました。いつも見慣れたこの景色、知っているようで、知らないようなところがある。窓から、見える草木の名前や芽吹いた日、花の咲いた日など、知らないことだらけ、それでも日々は知ったつもりにならなければならぬ。気がつきませんでした。知っているつもりで、知らなかつたのかもしれない。日々の生活の中で、小さな変化、成長を知っているつもりになることなく、知らずと続けることを大切にしていきたい。河野